

経 過

本年度で48回目を迎える岡山市文化奨励賞は、岡山市において学術・芸術の分野で中堅的存在として活躍している市民を表彰し、今後一層の研鑽を奨励するため、昭和49年に制定しました。

今回も、市内の関係方面に候補者の推薦をお願いし、多数のご推薦をいただきました。その後、選考委員会の選考、岡山市長の決議を経て、学術部門で齋藤美絵子氏と中司敦子氏を受賞者と決定しました。

受賞者には、本賞（賞状及び賞牌）並びに副賞（賞金）を贈ります。賞牌は大桐國光氏が制作したブロンズ浮彫です。なお、この賞の受賞者は、今年度で学術部門は7団体・42名、芸術部門は4団体・42名となりました。

令和3年11月15日

岡 山 市

岡山市文化奨励賞受賞者一覧

- | | | | | | |
|------|------|---------------|------|------|----------------------|
| 第1回 | 学術部門 | 岡山民俗学会 | 第25回 | 学術部門 | 山本力 (心理学) |
| | 芸術部門 | 坂本明子 (現代詩) | | 芸術部門 | 内田智也 (版画) |
| 第2回 | 学術部門 | 長光徳和 (歴史学) | 第26回 | 学術部門 | 定兼学 (歴史学) |
| | 芸術部門 | 大月宗明 (邦楽) | | 芸術部門 | 安藤清和 (現代美術) |
| 第3回 | 学術部門 | 大間壁忠彦 (考古学) | 第27回 | 学術部門 | 岸田芳朗 (農学) |
| | 芸術部門 | 横田建三 (洋画) | | 芸術部門 | 浦田隆司 (音楽) |
| 第4回 | 学術部門 | 横鶴鹿忠 (民俗学) | 第28回 | 学術部門 | 小倉俊郎 (医学) |
| | 芸術部門 | 片山康雄 (洋楽) | | 芸術部門 | 小浮田隆司 (美術振興) |
| 第5回 | 学術部門 | 岡山民話の会 | 第29回 | 学術部門 | 柴田奈美 (国文学) |
| | 芸術部門 | 深田恒弘 (陶芸) | | 芸術部門 | 山崎繁男 (パノラマ) |
| 第6回 | 学術部門 | 県立興陽高等学校農業研究部 | 第30回 | 学術部門 | 岡山地方史研究会 |
| | 芸術部門 | 三沢浩二 (現代詩) | | 芸術部門 | 上月恵 (洋楽) |
| 第7回 | 学術部門 | 加原耕作 (歴史学) | 第31回 | 学術部門 | 松木武彦 (考古学) |
| | 芸術部門 | 金谷哲郎 (彫刻) | | 芸術部門 | 佐藤淑子 (舞踊) |
| 第8回 | 学術部門 | 西川宏 (考古学) | 第32回 | 学術部門 | 塩田澄子 (微生物学) |
| | 芸術部門 | 星島明郎 (洋楽) | | 芸術部門 | 嘉数彰彦 (映像芸術) |
| 第9回 | 学術部門 | 大田健一 (歴史学) | 第33回 | 学術部門 | 近森秀高 (流域水文学) |
| | 芸術部門 | 成本和子 (童話) | | 芸術部門 | 有松啓介 (ガラス工芸) |
| 第10回 | 学術部門 | 小野道子 (書道) | 第34回 | 学術部門 | 戸上泉 (医学) |
| | 芸術部門 | 棚田国雄 (洋楽) | | 芸術部門 | よしもと正人 (彫刻) |
| 第11回 | 学術部門 | 斎藤伸英 (地理学) | 第35回 | 学術部門 | 三村由香里 (スポーツ医学) |
| | 芸術部門 | 岡田弘 (写真) | | 芸術部門 | 南川茂樹 (木工・デザイン) |
| 第12回 | 学術部門 | 朝森要 (歴史学) | 第36回 | 学術部門 | 宇垣匡雅 (考古学) |
| | 芸術部門 | 菱川欣三郎 (洋楽) | | 芸術部門 | 斎藤恵子 (現代詩) |
| 第13回 | 学術部門 | 南智 (地理学) | 第37回 | 学術部門 | 木下浩 (民俗学) |
| | 芸術部門 | 末森智子 (工芸) | | 芸術部門 | (受賞者なし) |
| 第14回 | 学術部門 | 後神俊文 (近代史) | 第38回 | 学術部門 | 青木康嘉 (近代史) |
| | 芸術部門 | 香川昌久 (洋画) | | 芸術部門 | 宮崎郁子 (人形芸術) |
| 第15回 | 学術部門 | 高橋護 (考古学) | 第39回 | 学術部門 | 和田淳 (医学) |
| | 芸術部門 | 平田稔 (商業美術) | | 芸術部門 | 岡山市民合唱団鷺羽 |
| 第16回 | 学術部門 | 臼井英治 (文化史) | 第40回 | 学術部門 | 山川隆之 (出版) |
| | 芸術部門 | 小野敬子 (洋舞) | | 芸術部門 | 青地大輔 (写真) |
| 第17回 | 学術部門 | 冲陽子 (植物学) | 第41回 | 学術部門 | 林原美術館 (博物館) |
| | 芸術部門 | 森尚 (彫刻) | | 芸術部門 | アートファーム (舞台芸術) |
| 第18回 | 学術部門 | 森元辰昭 (近代史) | 第42回 | 学術部門 | 内池英樹 (歴史学) |
| | 芸術部門 | 森森拓也 (書道) | | 芸術部門 | 小川孝雄 (映画) |
| 第19回 | 学術部門 | 間壁葎子 (考古学) | 第43回 | 学術部門 | 喜多村真治 (医学) |
| | 芸術部門 | 森下勲 (彫刻) | | 芸術部門 | 池田靖嗣 (パブリックアートの再生) |
| 第20回 | 学術部門 | 井上啓治 (国文学) | 第44回 | 学術部門 | 岡山大学附属図書館 |
| | 学術部門 | 高橋和成 (生物学) | | 芸術部門 | 石田彩 (ガラス工芸) |
| 第21回 | 学術部門 | 岡岡鐵雄 (植物学) | 第45回 | 学術部門 | 県立記録資料館古文書解読同好会 |
| | 芸術部門 | 岡山シンフォニックバンド | | 芸術部門 | 出口裕子 (音楽) |
| 第22回 | 学術部門 | 草地功 (鉱物学) | 第46回 | 学術部門 | 万城昭 (歴史学) |
| | 芸術部門 | 藤沢陽一 (演劇) | | 芸術部門 | 岡山大学大学院教育学研究科 |
| 第23回 | 学術部門 | 高橋香代 (スポーツ医学) | | 学術部門 | 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座 |
| | 芸術部門 | 松島巖 (ガラス工芸) | 第47回 | 学術部門 | 森山圭 (薬学) |
| 第24回 | 学術部門 | 香田康年 (生物学) | | 芸術部門 | 近藤浩子 (洋楽) |
| | 芸術部門 | 小林照尚 (彫刻) | 第48回 | 学術部門 | 齋藤美絵子 (デザイン学) |
| | | | | 学術部門 | 中司敦子 (医学) |

令和3年度（第48回）

岡山市文化奨励賞



文化奨励賞賞牌 大桐國光作

岡 山 市

学術部門

さいとう みえこ
齋藤 美絵子（デザイン学）



生年月日：昭和50年5月18日（46歳）

住 所：岡山市北区北長瀬本町

■表彰理由

齋藤氏は、ビジュアル（視覚伝達）デザインと情報工学の二つの分野の専門性を、防災分野で役立てる独自の研究を進めている。デジタルハザードマップのインタラクティブ機能やヴァーチャリアリティを活用したARアプリの開発と効果について研究し、有識者としての行政への参画等によりその成果を地域社会に提供している。

また、現在は社会福祉専門の研究者との協働により、障がい者や高齢者など多様な属性を想定した避難計画立案のための研究を進めている。

分野の専門性を越えた継続的な研究と成果を評価するとともに、今後も防災・減災を目的とする研究に邁進し、その成果による更なる地域貢献を期待して本賞を贈る。

■略歴

平成6年3月 金光学園高等学校卒業
平成10年3月 岡山県立大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科卒業
平成12年3月 岡山県立大学大学院デザイン学研究科修了 修士（デザイン学）
平成12年4月 岡山県立大学デザイン学部助手
平成19年9月 岡山県立大学デザイン学部講師
平成27年10月 岡山県立大学デザイン学部准教授
平成30年3月 岡山県立大学大学院情報系工学研究科修了 博士（工学）

学術部門

なかつか あつこ
中司 敦子（医学）



生年月日：昭和48年12月16日（47歳）

住 所：岡山市北区奥田西町

■表彰理由

中司氏は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科で、腎・免疫・内分泌代謝内科学を研究し、メタボリックシンドロームにおいて、内臓脂肪から分泌されるタンパク質のバスピンを発見し、世界で初めてその働きを解明した。

基礎研究と臨床医学をつなぐ研究医として自ら立案し、試行錯誤を繰り返す中で生まれる研究の創造性や着眼点が高く評価され、多数の受賞歴を有するとともに、女性研究者のロールモデルとしても期待されている。

継続した研究による成果を評価するとともに、今後の研究が糖尿病・腎臓病の病態解明と治療法開発による地域医療の向上及び社会貢献に資することを期待して本賞を贈る。

■略歴

平成4年3月 広島大学附属福山高等学校卒業
平成10年3月 岡山大学医学部医学科卒業
平成16年4月 岡山大学医学部 腎・免疫・内分泌代謝内科学 研究生
平成19年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
腎・免疫・内分泌代謝内科学 客員研究員
平成24年7月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 糖尿病性腎症治療学講座 助教
平成24年12月 医学博士取得（岡山大学）
平成26年4月 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 助教
令和元年7月 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師